



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第307号

2017年2月20日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

2017年度当初予算は525億円

2017年度当初予算案が公表されました。17年度予算は、5月に市長の任期満了による市長選挙が予定されていることから骨格予算となっています。骨格予算は、通常必要となる経常的経費の予算に絞り、政策的予算は新しい市長の裁量にゆだねるというもので、市長選挙の年の慣例となっています。

一般会計の予算規模は525億1,300万円で、前年度比較で35億6,800万円(6.4%)の減額となっています。歳出額の大きなもので、東葉高速鉄道への財政支出5億8,000万円、焼却炉改修費約41億円などが16年度で終了しました。

市民への負担強いる秋葉市政

ハコモノ建設などがもたらした借金は、17年度末見込みで554億円となります。前年度より約20億円減らしているものの、一般会計規模を上回るべく大な借金財政体質に変わりありません。借金が減額したとはいえ市民に負担を強いるやり方は評価できません。一昨年、国保会計が赤字になるからと、国民健康保険料を大幅に値上げしました。ところが決算では約10億円もの余剰金が出ました。国保料が高すぎて払えない被保険者は6,000人もいるのです。保険料引き下げにこそ回すべきです。

100億～130億円の市庁舎整備費が

市役所庁舎を建て替えるとして、毎年5億円を積み立て6年間で30億円にする、庁舎整備基金を立ち上げました。市は熊本地震を理由に、耐震改修による大規模改修(約30億円)のこれまで方針を転換しました。庁舎建て替え費用は100億～130億円ともいわれています。ばく大な借金をかかえている八千代市にとっては大きな負担となります。市民との合意、明確な財政計画が必要です。

その一方で、市民の願いである学校の教室へのエアコンの設置、高すぎる国民健康保険料・介護保険料の引き下げには、手をつけようとはしていません。

市民のみなさんと一緒に要求を予算に反映

日本共産党は市民の切実な要求を市議会などで取り上げてきました。17年度予算案に反映した主な新規事業は次の通りです。障害者福祉施設の整備(3億円)、村上南保育園定員10名増・保育士の処遇改善等(22億1,600万円)、保育園施設整備160名(2億1,600万円)、南高津学童の新設・緑ヶ丘しおん学童の定員拡大等(3億5,000万円)、八千代台東南公共センター調理室空調設備工事(3,489万円)、木造住宅リフォーム助成(300万円)、特別支援学級数の増(3,500万円)。

